

平成27年8月 東京地区百貨店売上高概況

平成27年9月18日

I. 概況

1. 売上高総額	1, 119億円余
2. 前年同月比	6.1% (5か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭6.5%(89.4%) : 非店頭2.5%(10.6%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成27年7月対比±0店)
5. 総店舗面積	856,715㎡ (前年同月比: 0.0%)
6. 総従業員数	19,019人 (前年同月比: -0.1%)
7. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	1-3月 -5.1%、2-4月 -0.8%、3-5月 1.1%、 4-6月 11.5%、5-7月 8.1%、6-8月 6.4%

[参考] 平成26年8月の売上高増減率は1.3%

【8月売上の特徴】

- (1) 入店客数は上旬の好天に加え、中旬以降の気温低下により秋物商材を求める来店客の増加、国内旅行者及び訪日外国人の増などを受け前年並みを確保。総額では5か月連続プラスとなる6.1%増を記録した。
- (2) 商品別では、主要5品目のうち食料品が月後半の天候悪化による影響で微減(-0.4%)したもの、衣料品(+2.1%)、身のまわり品(+13.6%)、雑貨(+20.0%)、家庭用品(+1.7%)がプラスを記録するなど、前月と同パターンで仕上がった。
- (3) 細分類では、子供服(+13.2%)、化粧品(+36.7%)、美術・宝飾・貴金属(+25.9%)が2桁増と高伸。紳士服(+3.8%)、婦人服(+0.1%)、その他衣料品(+4.9%)が揃って前年を確保したのも注目される。
- (4) 個別商材では、月前半が好天に恵まれドレス、ブラウス、UV関連商品など盛夏物の動きが良く、一転して気温が下がった月後半は、セーター、パンツ、レザーウェアなどの秋冬物が活発だった。また、月を通じてベターゾーンを中心にハンドバッグが堅調だったことに加え、年を追って前倒し需要が顕著となっているランドセルも高い伸びを示した。なお、各店で開催された秋物商材予約会や高級時計フェアも好調だったとの報告が入っている。
- (5) 9月については長雨の影響を受けたものの、改装効果もあって15日現在2%増で推移。

【要因】

- (1) 営業日数増減 30.5日 (前年同月比-0.1日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数18店舗)
①増加した: 7店、②変化なし: 4店、③減少した: 7店
- (3) 8月歳時記(夏休み、お盆)の売上 (同上/有効回答数13店舗)
①増加した: 4店、②変化なし: 9店、③減少した: 0店

東京地区百貨店 売上高速報 2015年08月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	111,934,926	100.0	6.1
紳士服・洋品	7,188,177	6.4	3.8
婦人服・洋品	18,365,861	16.4	0.1
子供服・洋品	2,052,971	1.8	13.2
その他衣料品	2,450,935	2.2	4.9
衣 料 品	30,057,944	26.9	2.1
身のまわり品	17,412,278	15.6	13.6
化粧品	9,562,785	8.5	36.7
美術・宝飾・貴金属	8,780,357	7.8	25.9
その他雑貨	5,413,907	4.8	-7.0
雑 貨	23,757,049	21.2	20.0
家 具	1,513,553	1.4	0.6
家 電	650,989	0.6	2.4
その他家庭用品	4,039,216	3.6	2.0
家 庭 用 品	6,203,758	5.5	1.7
生 鮮 食 品	4,509,798	4.0	0.5
菓 子	7,858,935	7.0	-0.9
惣 菜	6,469,565	5.8	1.0
その他食料品	7,549,570	6.7	-1.8
食 料 品	26,387,868	23.6	-0.4
食 堂 喫 茶	3,550,708	3.2	-0.6
サ ー ビ ス	1,806,814	1.6	-24.3
そ の 他	2,758,507	2.5	14.0

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商 品 券	1,877,741 千円	-5.0
従 業 員 数	19,019 人	-0.1
店 舗 面 積	856,715 m ²	0.0

営 業 日 数	30.5 日	前年	30.6 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、身のまわり品、雑貨、家庭用品が5か月連続、衣料品が2か月連続のプラスとなった。また、食料品が2か月連続のマイナスとなった。その他の品目は、紳士服・洋品、その他衣料品、化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他家庭用品、惣菜が5か月連続、婦人服・洋品、子供服・洋品、家電が2か月連続、生鮮食品が2か月ぶり、家具が3か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	6.1	—	5か月連続プラス
紳士服・洋品	3.8	0.3	5か月連続プラス
婦人服・洋品	0.1	0.0	2か月連続プラス
子供服・洋品	13.2	0.2	2か月連続プラス
その他衣料品	4.9	0.1	5か月連続プラス
衣料品	2.1	0.6	2か月連続プラス
身のまわり品	13.6	2.0	5か月連続プラス
化粧品	36.7	2.4	5か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	25.9	1.7	5か月連続プラス*
その他雑貨	-7.0	-0.4	5か月ぶりマイナス*
雑貨	20.0	3.8	5か月連続プラス
家具	0.6	0.0	3か月ぶりプラス
家電	2.4	0.0	2か月連続プラス
その他家庭用品	2.0	0.1	5か月連続プラス
家庭用品	1.7	0.1	5か月連続プラス
生鮮食品	0.5	0.0	2か月ぶりプラス*
菓子	-0.9	-0.1	3か月ぶりマイナス*
惣菜	1.0	0.1	5か月連続プラス*
その他食料品	-1.8	-0.1	2か月連続マイナス*
食料品	-0.4	-0.1	2か月連続マイナス
食堂喫茶	-0.6	0.0	5か月ぶりマイナス
サービス	-24.3	-0.5	2か月連続マイナス
その他	14.0	0.3	2か月ぶりプラス
商品券	-5.0	-0.1	6か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・関まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>